

『単元展開案』

教科等名	外国語	校種・学年	小学校 第5学年
内容の まとめ	「話すこと(やりとり)」イ	全時数	8時間
単元名	身近な人を紹介しよう		
単元の目標	自分や身近な人のことを知ってもらうために、得意なことや苦手なことなどについて、自分の考えや気持ちを含めて話すことができる。また、アルファベットの文字を活字体で書くことができる。		
単元の 評価規準	知識・技能	・I/He/She can~/Can you~?の特徴やきまりを理解している。 ・自分や相手、第三者ができること、できないことについて自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。	
	思考・判断・表現	相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、自分や第三者が得意なことや苦手なことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	
	主体的に学習に取り組む態度	相手に自分や第三者のことをよく知ってもらうために、自分や第三者が得意なことや苦手なことなどについて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。	
時	主な学習活動		
1	・単元の目標を理解する。 ・人物や動物についての話やクイズを聞いて推測する。		
2	イラストの中から自分の得意なことを選んで相手に説明する。		
3	好きなスポーツや趣味について予想し、インタビューをする。		
4	イラストを用いて、得意なことと苦手なことについて伝え合う。		
5	第三者について人物紹介を聞き、それが誰であるか推測する。		
6	・第4時のインタビュー活動をもとに、クイズを出し合う。 ・例を参考に、自分の得意なことや苦手なことを書く。		
7 本時	インタビュー結果をもとに、友だちや先生が得意なことや苦手なことを自分のことを含めてペアで伝え合う。		
8	インタビュー結果をもとに、友だちや先生が得意なことや苦手なことを自分のことを含めて発表する。		
本時の評価規準	友だちに自分や身近な人のことを知ってもらうために、自分や身近な人の得意なことや苦手なことなどについて、自分の考えや気持ちを含めて話している。【思考・判断・表現】		
【C努力を要する児童への手立て】	【予想されるつまずき】	【必要な支援・手立て】	
		動詞を類推することが難しい。	ジェスチャーや絵の付いたワードバンクを使いながらゆっくり伝えさせる。
		文字の認識が不十分。	なぞり書きができるワークシートを準備し、例文を参考に書かせる。

【小学校 第6学年(Unit8)】

学 習 指 導 略 案 (全8時間)

時	主 な 学 習 活 動	具 体 的 な 学 習 活 動
1	・単元の目標を理解する。 ・中学校で楽しみにしていることについて話す。	①モデル文を聞いて単元のゴールを確認する。 ②モデル文を聞いて分かったことをメモする。 ③教科や職業についての単語を確認する。
2	中学校で楽しみたいことや行事と得意なことについて伝え合う。	①モデル文を聞いて教科や職業などを選ぶ。 ②中学校で楽しみたいことや行事と得意なことについてインタビューする。
3	中学校で入りたい部活や将来やってみみたいことについて伝え合う。	①中学校で入りたい部活や将来やってみみたいことについてインタビューする。 ②インタビューしたことについて友だちのことを伝える。
4	中学校入学後や将来にやってみみたいこととその理由を伝え合う。	モデル文やインタビューをもとに、中学校入学後や将来にやってみみたいこととその理由を話す。
5	『夢宣言カード』の内容を考え、ワークシートに書く。	①登場人物が夢について紹介する英文を聞き、それについてまとめる。 ②モデル文やこれまでに書きためたワークシートを参考にして、どのような『夢宣言ポスター』にするかを考え、ワークシートに書く。
6 本 時	これまでに発表したことや前時に作成したワークシートを参考にして読み手を意識して例文を参考に『夢宣言カード』を書く。	①ワークシートを用いて、中学校入学後や将来にやってみみたいことペアで伝え合う。 ②これまでに発表したことや前時に作成したワークシートや例文を参考に『夢宣言カード』を書く。
7	『夢宣言カード』を使ってスピーチをする。	①『夢宣言カード』を使って、グループで発表し、アドバイスし合う。 ②『夢宣言カード』をシャッフルして誰のカードか当てる。
8	中学校の先輩にメッセージを伝えるために、『夢宣言カード』を推測しながら読んで意味が分かる。	①作成した『夢宣言カード』から、JTEが言う語を探す。 ②友だちの『夢宣言カード』を読み合い、分かったことをワークシートに書く。

本時の評価規準

中学校生活や夢について、読み手に伝わるように、自分の考えや気持ちなどを書いている。
【思考・判断・表現】(want to～及びwant to be～に着目)

【C努力を要する児童への手立て】

【予想されるつまづき】

アルファベットが正しく書けない。

何を書いてよいかわからない。

【必要な支援・手立て】

「アルファベット表」を示し、モデル文を参考に4線上に正しく書かせる。

絵の中から選び、WORDBANKの単語と結び付けながら文を作る。